

料金後納

ゆうメール



「Windows10のネットワークトラブルについて」

『第6回AREX社員とその家族旅行』

6月16日に、東京ディズニーシーに行っていました。
子供たちの成長と笑顔が、
私のエネルギー源です。

この旅行を楽しみにしてくれる人達で
会社が溢れることを強く願います。



【差出人・返還先】

住所 宇都宮市岩曾町1120-3

TEL 028-601-9055

HP <http://www.alex.ne.jp/>

株式会社 **アレックス**



Windows10のネットワークトラブル? について

Windows10、皆さんのパソコンでも、お使いの方が半数以上を占めているのではないのでしょうか。何気に2015年7月末発売と、すでに3年が経過しようとしています。はじめはWin7や8から『勝手にバージョンアップされた』から始まったのも懐かしく感じます。そんなWin10ですが、『次のWindowsはない』とされています。今後も数字は10のまま、半年ごとに最新バージョンが自動的にインストールされるという仕組みになっており、3年間で初めの状態を合わせると計6回、すでにバージョンが変わっているんです。「夜シャットダウンして翌朝起動したら、何だか変わっていた」という経験をされた方も多いかと思います。今回のお話は、そのバージョンアップがあるたびに、特に問題となっている『ネットワーク関係の設定トラブル』などについて記事にしたいと思います。

Windows10は10じゃない! ?

上記の通り、3年前のWin10と、2018年6月末の10は、“ちょっと違う”と思ってください。半年に1度バージョンアップしているわけですから、「追加された機能」と「削除(無効化)された機能」があるんです。これまではWindows〇〇で、どのWindowsを使っていたかを判断していましたが、これからバージョンアップという言葉を使用する際は、『Windows10のバージョン〇〇』というふうに考えます。

Windows の仕様	
エディション	Windows 10 Pro
バージョン	1709
OS ビルド	16299.492

Win10の 1709 が...



Windows の仕様	
エディション	Windows 10 Pro
バージョン	1803
インストール日	2018/06/14
OS ビルド	17134.112

1803 になった!

パソコンを起動しデスクトップ画面にて、画面左下の「田(スタート)」ボタンを「右」クリックして、「システム」をクリックすると、Windowsの仕様という項目で、バージョンが分かる(1803は2018年6月の最新バージョン)

バージョンアップすると、元々設定していた各種設定項目が初期値に戻っていたり、Windowsがおすすめするというアプリ(ほとんどゲームですが...)が、広告費代わりなのかスタート画面に表示されていたりします。この中で、オフィス環境で一番問題となるのが「ネットワーク設定」と「ドライバソフト」かと思われます。

ネットワークの設定は”半年ごとに初期化される”とっていい!

まずはネットワークについてです。社内で共有ファイルを使用していたり、パソコン対パソコンで共有フォルダを使用している場合、「バージョンアップしたら相手のパソコンがネットワークに表示されない」「これまでパスワード無しで見れていたのに見れなくなった」など、経験あるのではないのでしょうか? もちろんながら、再度共有の設定をすれば、見えるようになります。

バージョン1709や1803では「**SMB1.0**」という共有フォルダに関する設定が、“無効化”されました。これは、例えばコピー機などからPDFデータをスキャンしたり、古いネットワークハードディスクなどで利用されている機能で、未だに流行している“ランサムウェア”と呼ばれるウイルス等の動作・侵入を防ぐ目的で無効化されることとなりました。(設定で復活させることができます)

バージョン1803では、フォルダを開いて「ネットワーク」をクリックしたときに、他のパソコンが表示されない、といった現象があります。こちらも設定で直すことができます。

ドライバソフトにも注意が必要

バージョンアップした際に、対応しない古いドライバーは使えなくなったり、動作に不具合が出たりすることがあります。ほとんどの場合は、ドライバーを必要とするプリンターや周辺機器などのメーカーホームページから「最新版のドライバー等のソフトウェア」がダウンロードできるようになっているので、最新版に更新しましょう。

今後Windows10を使っていくにあたって

このようにWindows10は、誰が何と言おうが「最新版」になっていくように作られています。ですので、そのWindowsにインストールする各ソフトメーカーも「最新版」を提供し続けなくてはならない、ということになります。そして、パソコンを使用する側も、「常に最新版を使うよう心がける」ということになります。

もちろんながら、これがうまくいくばかりとは限らないので、Windows側にも「バージョンアップを延期する」などの機能はありますので、不具合が出にくいにはなっていますが、その延期機能も「ずっと延期」はできず、ある一定期間が過ぎれば、最新版へのバージョンアップが始まってしまいます。

上記の通り、セキュリティ対策は強化され続け、XP時代からあるような古い規格は削除されていきます。この流れに合わせ、将来を見越して、オフィスのIT機器を揃えていく時代になってきています。

(無効化されるということは、将来的に完全に削除される機能...時代に合わせた機器選定をしましょう!)